

第2回北区新庁舎にぎわい創出有識者会議 概要

- 日時 令和6年6月6日（木）9：30～11：45

- 場所 北区役所 TIC王子ビル3階会議室

- 次第 1 開会

- ・前回会議のご意見等に対する対応

- 2 議事

- ・低層部にぎわい想定イメージ

- 3 その他

- ・次回会議日程について

- 4 閉会

- 会議概要

- 1 開会

- ・前回会議のご意見等に対する対応

- 事務局から、前回会議の意見等に対する対応について説明があった。

- 委員意見等

- ・ 道路ネットワークや隣接街区の開発動向など、まち全体にかかることが検討与件になるので、検討状況について教えてもらいたい。

- 2 議事

- ・低層部にぎわい想定イメージ

- 事務局から、各種調査結果について説明があった。

○ 委員意見等

- ・ アンケート結果から、王子駅周辺は、若者、シニア、外国人、男女ともに、明確な目的なく目的地を持たずに過ごすことが出来る「目的なき目的地」になっているのではないかと考えている。一方で、大きい公園等はあるが、ファミリー層にとっての身近な居場所が十分ではなく、2つのギャップがポテンシャルであり課題でもある。
- ・ 「地域力の創出」を考えると、地元で営む能動的な主体をつくる必要があるのではないかと。「行ってみる」だけでなく、「自分でやってみる」仕組みがあれば、主体が多様になり、新しいにぎわいができるのではないかと。
- ・ どれだけ住民自身の活動力を引き出せるかということは、非常に重要な視点である。
- ・ 幸福学の研究で、地域の幸福実感の高さは「居場所」だけでなく「舞台（“お役目”のイメージ）」の量に比例するといった調査がある。地方ほど「舞台」が求められる。北区は23区の中でも高齢化が進んでおり、地方都市、郊外の要素が強く、より一層「居場所」と「舞台」が必要となるのではないかと。
- ・ 都市でもあるため、気楽でもありながら、少しおしゃれしていくような、見られる存在になれる場づくりは、舞台の感覚と繋がるのではないかと。生活の中で表現することに少し意識を向けられることが重要ではないかと。

○ 事務局から、基本設計のチームコンセプト案について説明があった。

○ 委員意見等

- ・ エンゲージメントは、場所への愛着やアタッチメントを意味する語として良いキーワードではないかと。愛着があるスペースはプレイス化する。飛鳥山公園などスペースはあるが、プレイス化していない。
- ・ 「人が育てるプラットフォーム」は、ハード面の話に終始してしまっている。区民全員でつくっていくニュアンスを入れた方が良い。
- ・ 北区は外国人も多い。外国人コミュニティで集まれる空間が少ないことが課題としてある。シティホールがそういった層を受け入れるメッセージも含めた方が良いのではないかと。
- ・ ターゲットを高齢者など「者」別で分割しないように、役割が重ねあうような空間が良いのではないかと。個人個人の役割も「十人十色」を超えて「一人十色」のように、一人で様々な役割を担っている場所がにぎわいになるのではないかと。
- ・ 新しい出会いによってコミュニケーションや地域課題の発見が生まれ、行政施策で解決することはストーリーの核となる。コンセプトには、「見つける」、「出会う」というニュアンスを入れた方が良い。

- ・ にぎわいのコンセプトやあり方において、ソフト面の話も入れた方が良い。結局は人が重要になる。例えば、開庁の数年前から、アンバサダーを導入して、いろいろなところで広報してもらおう等できると良い。
- ・ 時代とともに、細かなコンセプトは変わってくるが、空間のコンセプトのようなものが必要ではないか。特に、これからの時代は、地域課題を解決するためには、民間が主体的に関わるようになる。その時に、必要となる空間コンセプトは必要ではないか。
- ・ 私と公の間の共、コモンズの部分を持つことが、時代の大きな流れの中で変化しない部分になっているのではないか。
- ・ シティホールのにぎわいは、出会いの場をつくり、交流、協働、課題解決を生み出す場である。それは、これから先も変わらないのではないか。ただ、その際、庁舎では物理的な限界もあるため、庁舎はコアの場として、エリア全体で考えていく必要がある。
- ・ シティホールは、シティオフィスとシビックコモンズを合わせた概念である。シビックコモンズは、にぎわいであり、大小様々な人の関り代を持ち、初動を生み出せる人を引き込むことが重要である。
- ・ 舞台監督のような、地域を舞台として、地域の人のカastingも含めた監督側の人が増えている。舞台監督的な職能の人に良い空間と関係を与えることが重要ではないか。
- ・ 週1回でもコーヒーを提供したい人は結構いるのではないか。そういった人たちを受け入れる仕組みが理想的である。
- ・ インキュベーションスペースがあると良いのではないか。また、逆インキュベーションとして、認知度が低いお店が出店するなど、既存店舗を巻き込む仕組みも面白い。そうすることで、イートローカル、バイローカルが進むのではないか。
- ・ ジョギングステーションやサイクルステーションなど、大きな動線の中の位置づけが重要ではないか。また、ウェルビーイングは、時間経過がすごく重要な要素ではないか。季節や植栽の変化など、エイジングの要素を設計に入れてほしい。
- ・ 10年かけるからこそ出来るソフト、ハードのデザインが提案されても面白いのではないか。

3 その他

- ・ 次回会議日程について

○ 事務局から、以下のように説明があった。

- ・ 意見を踏まえ、フィードバックを行う。

4 閉会